

履修年度	2012	配当年次	2年生
開講学期	秋学期	単位数	2
授業科目名	地域論	担当教員名	外 护 保 大 介

授業概要
<p>この講義では、地域の産業、雇用、社会、政策等の実態を把握し、今後の展望や課題を検討する。</p> <p>本年度は、「立地調整」という観点から、地域の経済社会の変化を考えていきたい。日本をはじめとする先進国では、産業が成熟し、生産拠点の新設や移転よりもむしろ、閉鎖や縮小が問題となることが多く、またイノベーションが重視される中で、現在地での製品転換や機能転換をいかに進めるかが問われるようになっている。こうした立地調整の諸課題に取り組むためには、産業や企業により立地調整がどのように行われてきたのか、立地調整が地域経済社会に及ぼす影響を及ぼしてきたかといった実態把握が重要である。</p> <p>多くのケーススタディを踏まえて、地域全体で様々な立地調整が進む関門地域の状況とその課題についても考えたい。</p>
到達目標
<p>1. 地域の産業、雇用、社会、政策等の実態を把握する。</p> <p>2. 地域経済社会の理解に必要な概念や理論を習得する。</p> <p>3. 地域の実態を把握し、今後の展望や課題を見抜く力を身につける。</p>
評価の方法と基準
<p>小テスト(50%)、期末試験(50%)</p> <p>小テストは、授業中に実施する。正当な理由なく1回も受験しないと「不可」となるので注意すること。</p>

教科書			
書籍名	著者	出版社	出版年
立地調整の経済地理学	松原宏(編著)	原書房	2009年
参考書			
書籍名	著者	出版社	出版年
備考			

1	イントロダクション：立地調整とは何か	立地調整を議論する意義、立地調整の構成要素
2	日本における立地調整と立地構造の再編	立地調整の構成要素と分析手法、日本工業の立地調整、日本工業の地域構造の再編
3	主要産業の立地調整(1)	素材工業の立地再編と京葉臨海部の再生
4	主要産業の立地調整(2)	セメント業界のM&Aと物流システムの再編
5	主要産業の立地調整(3)	非鉄金属企業におけるリサイクル事業の展開
6	主要産業の立地調整(4)	エレクトロニクス企業における立地調整と産業クラスターの意義
7	主要産業の立地調整(5)	自動車企業による立地調整とサプライヤーシステム
8	立地調整による地域の変容(1)	繊維産地の衰退とフレキシブル生産、自動車産業のグローバル化と産業集積の空洞化
9	立地調整による地域の変容(2)	企業城下町における立地慣性と政治力学
10	立地調整による地域の変容(3)	産直住宅のビジネスモデルと木材産地の変容
11	立地調整の新局面(1)	日系人雇用地域の拡大と業務請負業者、中国人企業家によるソフトウェア事業の展開
12	立地調整の新局面(2)	アニメ産業とゲーム産業の立地再編
13	立地調整の新局面(3)	インディーズの成長と音楽コンテンツ産業の立地再編
14	関門地域における立地調整とその課題(1)	関門地域における立地調整とその課題
15	関門地域における立地調整とその課題(2)	関門地域における立地調整とその課題